



Stefan Fink

## シュテファン・フィンク展

2008年1月3日(木) — 13日(日)

11時 — 19時

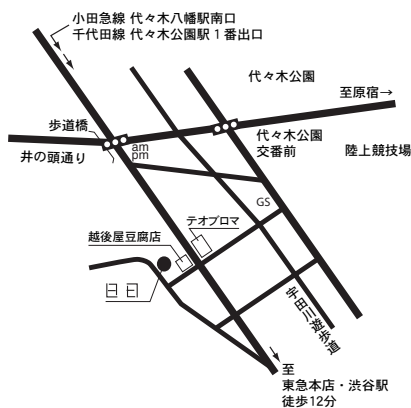
3日～9日まではシュテファンさん画廊

### ギャラリー 日日 東京

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-43-12

Tel./Fax. 03-3468-9270

www.nichinichi.com mail@nichinichi.com



何百年沼に眠った椰子の木、野生のオリーブの木、ピンクエボニー、ブラジル産のローズウッド、アフリカのブラックウッド、アマラント、ベルナンブック、プビング、柘。こういった硬質な木から、万年筆、ボールペン、デザインペンシル、シャープペンシルなど、いろいろな筆記具を一本ずつ削りだす、ドイツのマイスター職人、シュテファン・フィンク。

知り会って以来、彼がずっと一つの夢を抱き続けた。一回自分の展示会のため東京まで行きたいと。自分の作品を使ってくれる日本人に個人的に会いたいと。この夢がもうじきかなう。

今度のギャラリー日日の新年の展示会でシュテファン自身が自分の作品を東京で紹介する。そのため新型の万年筆とボールペンも作って、全部で100本あまりの筆記具を抱えて東京に持って来る。

こういう特別な筆記具は自然にそれなりの包みを求めてしまう。その革のケースは、シュテファンのもつくり親友、デザイナー兼革職人のフォルカー・ラングが作ってくれる。今回の展示会にフォルカー・ラングが他に作る、革のバッグや財布やブリーフケースもまた、シュテファンとともにやってくる。

新しい年が始まるときに、目新しいものを手に取って、現在ドイツの職人仕事とデザインの頂点を直接に触れるのを楽しみませんか。シュテファンが3日から9日まで在廊します。シュテファン・フィンクとフォルカー・ラングについての詳しい情報は [www.nichinichi.com](http://www.nichinichi.com) を参照下さい。

Post Card

料金別納郵便

日

日